

インクル

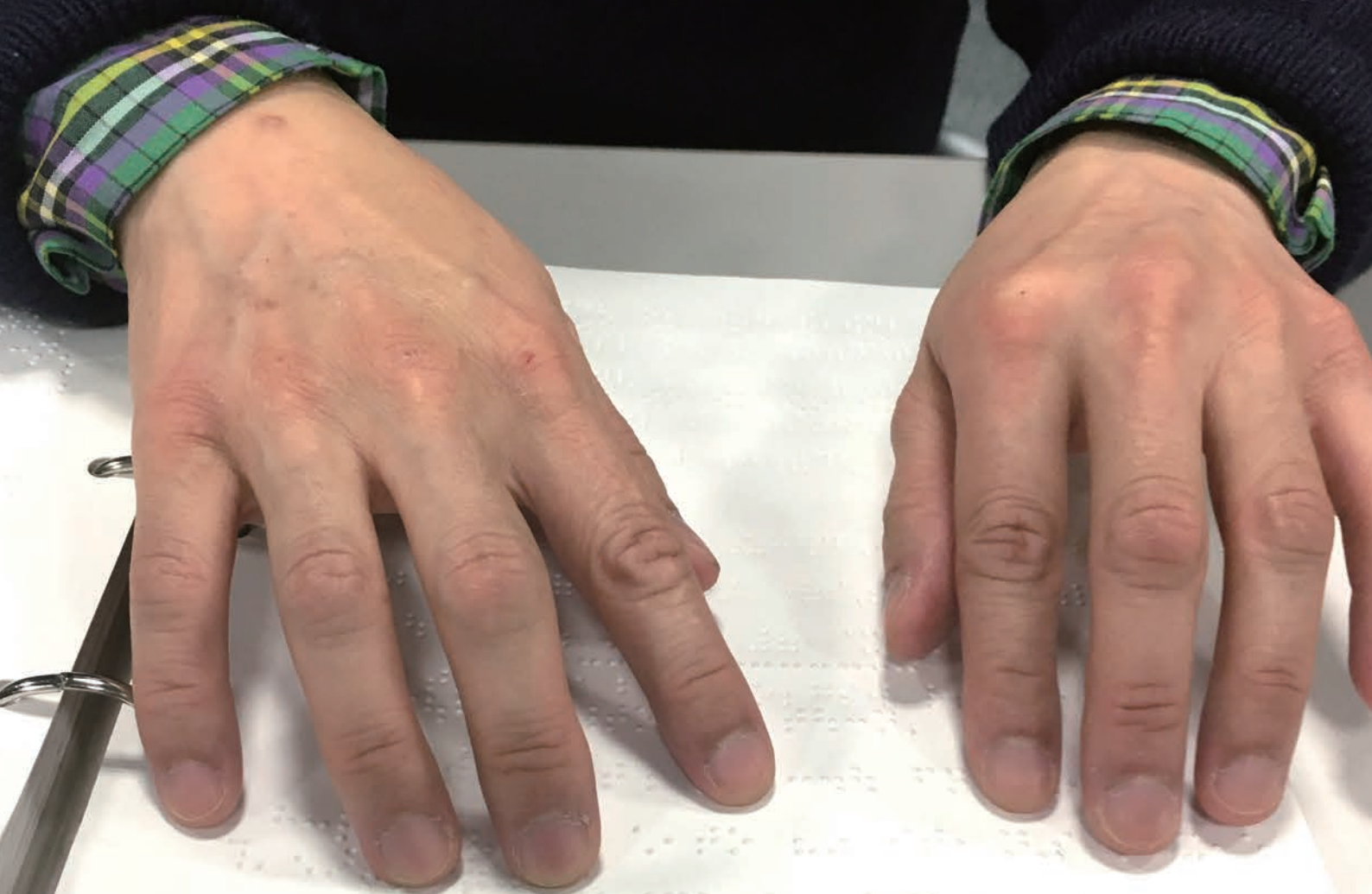
"Incl." by The Accessible Design Foundation of Japan (The Kyoyo-Hin Foundation)

The Periodical of Accessible Design

特集 点字と共用品

No. 106

2017(平成29)年 1月25日



目次 contents

■ 点字のある製品1	2	■ キーワードで考える「共用品講座」第96講	11
■ 点字のある製品2	4	■ 北大病院にEB(表皮水疱症)専門外来ができた経緯	12
■ 点字のある公共設備	5	■ アイルランド・ダブリンでアクセシビリティWG会議が開催	13
■ 点字への思いと願い	6	■ 文京ボランティア・市民活動まつり2016	14
■ 点字JIS、改正	8	■ 洗濯表示が新しくなりました	15
■ 点字の現状と、その必要性	9	■ 事務局長だより	16
■ 国内外の製品・パッケージ・公共機関に広がった点字の効果	10	■ 共用品通信	16

点字のある製品 1

共用品推進機構の前身である E&C の発足以来、点字と共用品には深い関わりがあります。点字は、日本でも見えない人たちの読み書きに大きな貢献をしていますが、書籍以外での活躍の場も広がってきています。また、点字の日本工業規格 (JIS) は今年度中に、改正版が発行される予定です。

今回は身の回りに実際に皆さまが、使用している製品等に表示されている点字について特集を組みました。

紹介した製品はごく一部ですが、皆さまからのご意見をいただければと思います。



TSUBAKI エクストラモイスト
シャンプー (つめかえ用) /
(株)資生堂



サンカット® 日焼け止め透明ス
プレー 無香料 / コーセーコス
メポート(株)



CO エンリッチ 薬用ホワイト
ニングハンドクリーム /
コーセーコスメポート(株)

日用品



TSUBAKI エクストラモイスト
ヘアコンディショナー (つめかえ用) /
(株)資生堂



ソフティモホワイト
メイク落としシート つめかえ /
コーセーコスメポート(株)



ソフティモスピーディ
クレンジングオイル /
コーセーコスメポート(株)

特集：点字と共用品



新鮮! 使い切りロースハム (3連) / プリマハム(株)



ゆかり® 26g / 三島食品(株)

飲食料品



新鮮! 使い切りハーフベーコン (3連) / プリマハム(株)



銀撰真澄 180mL カップ / 宮坂醸造(株)



辛口ゴールド真澄 300mL / 宮坂醸造(株)

家電製品



ジャー炊飯器「本炭釜 KAMADO」NJ-AW107 / 三菱電機(株)



C1000 ビタミンレモン / ハウスウェルネスフーズ(株)

点字のある製品 2



マイジャム 果実実感 つぶつぶ
イチゴジャム 160g/味の素(株)



カゴメ トマトケチャップ
300g/カゴメ(株)



キューピー 深煎りごま
ドレッシング150ml/キューピー(株)



ほんだし®60g 瓶/
味の素(株)



アヲハタ 55 ブルーベリー/
アヲハタ(株)



ブルドック 中濃ソース 300mL/
ブルドックソース(株)



AJINOMOTO 健康サララ®
600gUD エコペット/
(株)J-オイルミルズ



味の素 KK 中華あじ
55g 瓶/味の素(株)

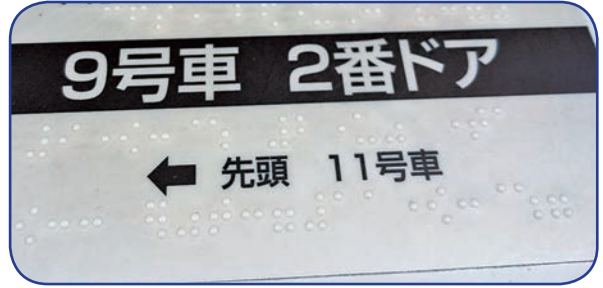


丸鶏がらスープ
55g 瓶/味の素(株)

点字のある公共設備



駅：階段手すりの点字



駅：ホームドアの点字



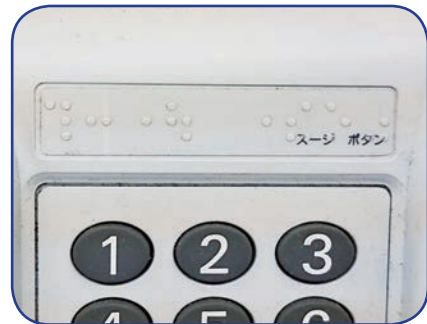
駅：自動券売機の点字 1



駅：自動券売機の点字 2



駅：自動券売機の点字 3



駅：自動券売機の点字 4



銀行：ATMの点字 1



銀行：ATMの点字 2

点字への思いと願い

点字のある毎日を

主婦 小暮愛子こぐれあいこ

中途失明して、最初に受けたのが点字講座だった。4年間通って、小学1年生がひらがなを読み書きするくらいのレベルには達した。調味料のパッケージや洗濯機などの家電製品、数多くの点字が生活の中にあることを知った。点字がついていると助かることばかりだ。例えば、先日も公共のトイレに入った際に流す場所がわからずに困ってしまった。視覚障害者のほとんどが一度は経験していることだと思ふ。結果的に個室の壁を触り尽くして、ようやく「なす」と書かれた点字を見つけた。視覚障害者だけでなく、幅広く多くの人が点字を使えるような工夫や働きかけはできないだろうかと考える。使う人が増えることで点字が普及すれば、回りまわって視覚障害者の不便さも軽減されるかもしれない。

私と点字

埼玉県福祉教育推進員 水出智津みずいあさこ

最近、号車番号が点字で書かれている電車が増えてきた。だから、乗ると私は向かって左側のドアの窓枠を触って、何号車なのかを確認する。おかげで下車駅のホームの階段の位置の見当つけやすくなり、移動がよりスムーズになった。この点字、待ち合わせにも重宝している。先日も新宿の待ち合わせで、「7号車に乗ったよ」とラインで知らせておいたら、電車を降りてすぐに友達に出会えて感動した。乗降客の多い駅での待ち合わせがとても楽になった。生活の中に点字がついているものが一つ増えると、自力でできること、便利になることが一つ増える。年齢に関係なく、これは実に嬉しいことである。

点字について

バトバヤルエンフマンダハ

来日して、7年になります。モンゴルでは9歳から点字を習い始め小中高校までは盲学校に行っていました。はじめて日本にきて白杖を手に一人で歩いてみました。点字ブロックをたどって歩くのは来日してからです。モンゴルには点字ブロックがありません。日本は母国に比べ、視覚障害者にとっても便利で優しい国だと思えます。日本で一番びっくりしたことは駅内の点字の案内や点字ブロックです。それに日常使われる商品に点字がついていたり、遠くの地方に行っても点字ブロックが引いてあったり。しかし点字ブロックの上に異物を置いたり、せつかく点字を書いて貼ったものの点字がつぶれていたり残念だと思ふこともあります。点字は私にとっても手放せない大事なものです。モンゴルもいつか日本みたいに視覚障害者に優しい国になることを祈っています。

指先で感じる明るい窓

公務員 高橋玲子たかはしれいこ

何の気なしにでも触れたものに小さなぶつぶつがあると、理性よりも先に、心と身体が「あれっ？」と期待に沸き立ちます。「なあんだ、ただの傷だったのか」、「なあんだ、滑り止めだったのか」というがっかりが以前はとても多かったのに、近年そのがっかりに換わって、「こんなところにも点字が!」といううれしい経験が増えました。駅や建物の階段の手すりや、電車内のドアで、トイレの個室で、エレベーターで、家のリビングやキッチンで、点字は何の器具も介さずに、さまざまな情報をゆるぎなく確実に私に伝えてくれる、唯一無二の大切な文字です。一言の点字は、私にとって、情報が溢れた外界への窓。その窓が今どんどん増えて、世界が日に日に明るくなっているのを肌で感じていきます。

点字に触れる安心感

社会福祉法人日本点字図書館

長岡英司

十年ほど前の春先の寒い朝、羽田空港にバスで着いた。その降車場は初めてだったので、出発カウンターへの行き方が分からない。尋ねたくても人がいない。少し離れた所で、触知案内図の存在を知らせるガイド音声が届いた。早速それに近づいて、案内図に触れる。点字による説明と凸点や凸線で描かれた建物内外の配置図を読み取って、無事に目指す場所にたどり着くことができた。最近では、電車内のドア番号や駅のホーム柵上にある号車番号の点字表示を、毎日便利に利用している。不慣れた駅では階段の手すりなどにある点字表示が役に立つ。近年増えてきた街中の点字表示や製品に付されている点字。それらに触れると思わずほっとするのは、私だけでなく多くの視覚障害者に共通の感覚であろう。

人類全体が体表点字も使う時代

社会福祉法人桜雲会 体表点字研究プロジェクト
長谷川貞夫

点字は、視覚障害者だけが指先の触覚で読む文字だった。コンピュータ時代の今では、点字を体表点字にして、人類の誰でもが読めるようになった。

体表点字の1点は、指先で読むゴマ粒より小さい点字の約20倍。つまり、十円玉を5枚重ねた大きさだ。それを、点字の6点の形に並べる。そして、点字が、スマホなどの通信電波で、英語、日本語などの各国語の点字の形に振動する。

通常の文字の場合、晴眼者であれば、高校を卒業するくらいまでの十数年間で、日本語の基礎が自由に読み書きできるようになる。もし、幼児期から体表点字を学べる環境が整えば、通常の文字と同じように、体表点字を誰もが自由に読み書きできるようになるだろう。ルイ・ブライユの点字発明は偉大だ。

点字を覚えて60年

地歌箏曲家 富田清邦

点字を利用するようになってから早60年。子供時代には、家族でよく百人一首で遊びましたが、私はいつも読み手を担当。覚えてたの点字を古ハガキに、上の句、下の句とポツポツ打ちながら、和歌を覚える楽しさもあり、自分専用にカードを作成しましたが、家族が段々白熱していく姿がおもしろかったことも忘れられない思い出です。

現在は、点字楽譜利用連絡会の理事の立場で、邦楽・洋楽を問わず点字の普及活動に勤しんでおりますが、個人的には、仕事で使用する資料のCDやMDにも点字タイプの表示をつけたら、特に大事な資料などは点字で残すようにしております。

点字表示の広がり可能性

東京大学先端科学技術研究センター
大河内直之

近年さまざまな点字表示が、一般の製品に付加されるようになった。もちろん、まだ不十分な点も否めないであろうが、しかし視覚障害者にとって利便性が高まったことは間違いない。そして、アルコール飲料に表示される「おさけ」のように、これら点字表示は、いまや一種の「ロゴ」のような存在として一般の人に受け入れられている。こうしたパッケージデザインの一部として広がる点字表示もなかなかすてきではないか。そして、少し遠回りなのかもしれないが、結果的に更なる視覚障害者の利便性につながっていくのではないか。そんなことに思い巡らせながら、缶ビールを片手に今日も夜更けと共に酒量を増やしている次第である。

点字 JIS、改正

(JIS T 0921 アクセシブルデザイン—標識, 設備及び機器への点字の適用方法)

制定の経緯

点字 JIS が改正になりました。これまで日本国内では、点字に関する左記の二つの規格が制定されてきました。

JIS T 0921 (高齢者・障害者配慮設計指針—点字の表示原則及び点字表示方法—公共施設・設備)・・・2006

JIS T 0923 (高齢者・障害者配慮設計指針—点字の表示原則及び点字表示方法—消費生活製品の操作部)・・・2009

日本国内だけではなく、点字表示のルールを世界共通にし、点字を使う視覚障害者の利便性を向上させるため、2009年、この二つの規格を基に、点字の国際規格作成を日本から ISO に提案し、2013年10月に ISO 17049 “Accessible design - Application of braille on signage, equipment and appliances” が制定されました。この国際規格と JIS との整合性を図るため、JIS T 0921 と JIS T 0923 を統合して JIS T

0923 を廃止し、改正を行いました。

必要な規定は残す

JIS の内容を国際規格に合わせて改正または発行する場合、国際規格を日本語に翻訳し、技術的な内容を変えずに JIS として発行する「IDT」と、国際規格を採用しながらも、日本国内で必要なルールを JIS に含める「MOD」があります。ISO 17049 は JIS を基にして作成されたとはいえ、JIS の中にある規定をすべて世界共通にするのは難しく、日本国内で必要な規定がいくつか削除されました。そのため、改正 JIS T 0921 は、MOD の方を選択しました。図1は国際規格にはありませんが、点字の基本的な配置が一目で分かる図として残しました。また、図2は、議論の結果、国内の公共施設にある手すりに点字表示するときの例として、附属書(参考)の中に残すことになりました。

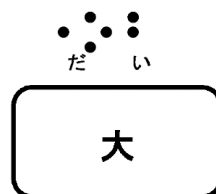


図1 点字の表示位置

点字使用者が安全に間違いなく、製品や施設・設備を使用するために、今回、JIS が改正となりました。点字使用者の数が減少しているといわれていますが、点字がなくならない限り、表示するための共通ルールが必要です。改正 JIS は、今年度中に発行になる予定です。

かなまるじゆんこ
金丸淳子

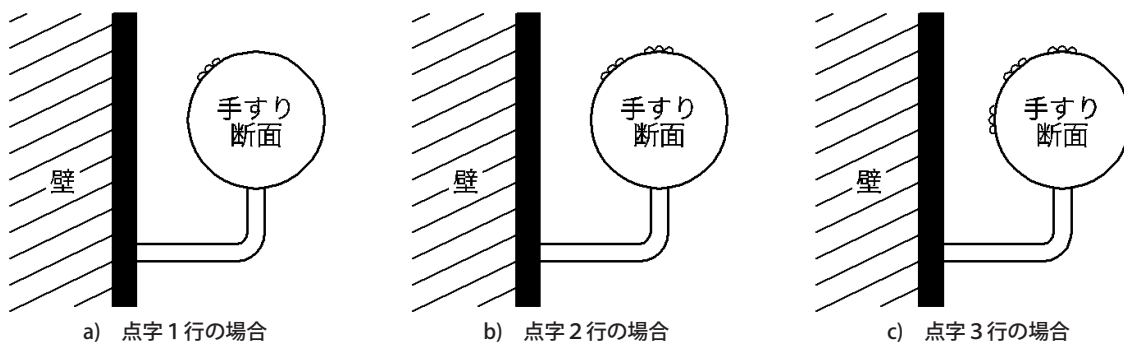


図2 手すりの点字表示例

点字の現状と、その必要性

毎日新聞社点字毎日編集部 はまいよしふみ
濱井良文

毎日新聞社が発行する週刊点字新聞『点字毎日』で、連載「点字にこだわる」を月1回のペースで担当している。主な狙いは、使用者が減る中で、点字を変わず大事に使う人たちや点字での情報提供を支える関係者の思いを伝えること。まさに、今回依頼されたテーマと合致する。そこで、近く100回を数える連載内容を振り返り、これまで集めてきた点字使用者らの声をまとめて伝えたい。

まずは、点字の現状から確認する。視覚障害者の情報アクセス手段は今日、多様化している。パソコンや携帯電話を使って音声で墨字をやりとりできるようになり、点字の存在感がかつてに比べ、相対的に薄れているのは間違いない。若い視覚障害者が減る一方、増え続けるのは高齢になって眼疾患により視力が低下する人々だ。こうした中途視覚障害者にとって、点字の習得は一般的に「難しい」と言われる。確かに容易

ではないが、読書までは難しくとも、共用品に取り入れられていくような点字を日常生活で便利に使う人は決して少なくない。とはいえ、視覚障害者全体で見ると、その数は圧倒的に少数派。視覚障害者自身も「利用者は何パーセントに過ぎない」という面にとらわれているように感じる。このように墨字の情報を音声で簡単に聞けるようになった現状と、点字の習得は難しいという思い込みや決めつけにより、点字の有用性が視覚障害者の中に浸透するのを妨げていると言える。では、点字の有用性、優位性はどこにあるのか。その最たる点は、自分で書き、読める文字としての強みだ。自分のペースで読み進んだり戻ったり、時には斜め読みをしたりと、能動的な読み方ができる。盲学校などでの学習場面では欠かせない。また、喜び、驚き、悲しさ、面白さなど、その時の感情に従って点字を読む指を留めることもできる。文学作品などの

読書は、第三者が朗読する録音図書ではなく点字図書でなくてはならないという人は多い。そして、表音文字である点字は、一つ二つの音を確認できる確実性を持つ。言葉を正しく学ぶことで、自分で納得して自信を持って使うことができる。耳から聞く音だけではどうしても、聞き間違いは起こり得る。会議や授業などの場面では、パソコンなどの音声とは違い、音の重なりを避けられるという利点もある。こうした数々のメリットを知る点字使用者の多くは、点字、音声、墨字など複数の手段をバランスよく組み合わせ利用していくことが必要だと指摘する。「情報障害者」とも言われる視覚障害者にとって、手袋をたくさん持つことが必要な情報にアクセスしやすくなり、有効活用につながるためだ。この考え方は今後、広まるだろうか。そのためには、点字の利点や必要性に実感が伴うことが必要になってくるだろう。自

国内外の製品・パッケージ・公共機関に広がった点字の効果

社会福祉法人日本点字図書館 わだつとむ 和田 勉

今回の特集で、私たちの身の周りの製品や建物などに、これほど多くの点字があることに驚かれた人も多いのではないのでしょうか。インターネットでも「こんなところに点字があったよ！優しいね♡」などのつぶやきを見ることが、よくあります。一方で「こんなところに点字があつて、役に立つのかな？」というようなつぶやきも見かけます。ネガティブな後者に対しては「いやいや結構役立ってますよ」と返したくなるのですが、あまり楽観的なコメントには、「点字があるからといって、優しいとは限らないんだよね」などと語りたくなるような相反するフクザツな気持ちを持つて、この状況をながめています。

ルイ・ブライユによって考案された点字は、世界中で使われているぐらいですから、きわめて優れた触覚文字であることは間違いないと思います。しかし、だからと言って万能とも言えません。まず、点字を使える視覚障

害者数の少なさがあります。厚生労働省の調査では、点字を読める人の割合は、視覚障害者全体の12%程度となっています。もともと、その中には弱視の人が相当数含まれますので、本当に見えない人が使う割合は、もう少し高くなるでしょう。スラスラは読めないけれど、身の回りの製品や建物にあるような短い言葉ならば、点字を手がかりにしているという人も、それなりにいらっしやるようです。公共空間などにある点字の最大の課題は「触らなければ読めない」文字だと言えるでしょう。建物などでは、この辺りに点字があるだろうと知っていなければ探すこともできません。また、いざ探すと言っても、あの小さなツブツブを広い空間の中から探し出すのは相当大変です。点字で情報を得るといえるのは結構なコストがかかるということなのです。この探索の苦労を少しでも軽減するためには、表示されている場所が決まっているこ

とが大切です。例えば、駅などの階段では手すりの両端に必ず点字があるとか、ボタンの説明をする点字は必ず左側にあるといった決まりです。ところが、かつての駅のボタン式券売機では、ある鉄道会社はボタンの上に、別の鉄道会社はボタンの下に点字があるなど統一がとれていない時代もありました。さらに言えば、苦勞して探し出した点字を読んでも、大したことが書かれていなかったら、それがっかりです。かつて、階段の手すりに「のぼりかいだん」という点字について、「そんなことは杖で少し探れば分かる。知りたいのは、この階段を上がった先が何番線のホームなのかなんだよ」という声を聞いたことがあります。まとめると、点字が有効に活用されるためには、適切な場所に、適切な内容が書かれていることが大切だということだと思います。これを定めたのがJISでした。点字表示のルールを定め

キーワードで考える「共用品講座」第96講
「点字と共用品」

ごとうよしかず
後藤芳一



後藤芳一（ごとう・よしかず）
日本福祉大学客員教授（東京大学大学院教授）1995～98年経済産業省医療・福祉機器産業室長（初代）、同大臣官房審議官（製薬業局担当）を経て2012年から東京大・日本福祉大は1999年から兼任。著書「共用品」という思想ほか。

点字 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

同様の用語が本講の第1～95講に既出であることを示す）は、文字として情報とともに、一般のモノやサービス

とともに、一般のモノやサービスとで共用化 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

は多くある（例：DAISY）が、狭義の「点字」とその周辺に絞り、政策 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

係、団体は全国的機関、事例は代表例をあげて考察する。

1. 点字の発展過程

(1) 表記法の発展

①先駆的試行…点と線による表記は17世紀に欧州で考案された。②現在形（海外）…その後フランスで現在のブライユ式点字（6点ローマ字）が開発（1825年）、正式採用（1854年）された。③現在形（日本）…日本式6点点字はブライユ点字をかな文字にして採用（1890

年）した。④表現充実…50音以外の表現や数式、6点漢字や8点式の漢字、指點字が加わった。⑤派生視覚障害者誘導用ブロック（いわゆる点字ブロック）、面で表示するピンディスプレイ、触地図などが生まれた。

(2) 用途と利用機会の拡大

① 個人利用…当初は点字は視覚障害者

個人向けに利用された。②組織的普及…点字図書館が点字文書の作成と普及拠点となった。③情報化…デジタルやネットの活用で支援者・機関が広がった。④社会化…建築物や交通、商品・流通・サービスで活用が進んだ。

2. 点字発展の推進力

(1) 推進機関

支援（例：点訳、出版、図書貸出、リハビリテーション、盲導犬訓練など）は日本ライトハウス（1922年、現在名）、東京ヘレン・ケラー協会（1925年）、日本点字図書館（1940年）ほか点字図書館、日本障害者リハビリテーション協会（1949年）、共用品推進機構（1991年）など。当事者は日本盲人会連合（1948年）

日本障害者協議会（1980年）など。教育・研究は盲学校や支援学校、国立特別支援教育総合研究所（1971年）、国立障害者リハビリテーションセンター（1979年）など。産業界（例：ソフト、書籍）はケージーエス、メディア、日本テレソフトなど。

(2) 政府の政策

共通政策は国連障害者の10年（1983～92年）、障害者プラン（最初は1995年）、改正障害者基本法（2011年施行、法律は施行年制定時の名称）、国連障害者権利条約（2014年締結）、障害者差別解消法（2016年）など。

教育

は官立盲学校等官制（1946年）、盲学校、特総研など（文部科学省）。福祉と労働

は国立光明寮設置法（1948年）、身体障害者福祉法・補装具交付制度（1949年）、身体障害者雇用促進法（1960年）、国立リハ（厚生労働省）。

建築と交通は視覚障害者誘導用ブロック設置指針（1985年）、ハー

トビル法（1994年）、交通バリア

フリー法（2000年）、バリアフリー法（2006年）（国土交通省）、モノやサービスは情報処理機器アクセシビリティ（指針）（1990年）、福祉用具法（1993年、厚労省）標準化（経済産業省）、改正郵便法で点字郵便料金減免（1961年）（総務省）などを講じている。

(3) 支援機器やサービス

入力点字器、点訳ソフト、ビースコアなど。表示や点字シール、点字ディスプレイ、読上げソフト、読取装置、点字プリンタなど。情報は点字図書、点字取扱説明書、点字毎日（1922年）など。（代表的なものは商品名を記した）

3. 共用品との関係

点字自体は当事者専用であるが、モノに添えると共用になる。共用化を基準に整理すると、①専用…墨字の代わりの文字として情報を補う（例：点字図書）、②共用化…一般のモノに点字を添えると不便さの有無に関わらず共に利用できる（例：毎ページの点字）、③派生…触覚識別で共用化（例：シャンプナー容器）、④記号化…公共空間や商品に点字表記することで配慮環境であることと伝えられる。当事者の社会参加を促す効果をもつ。

北大病院にEB（表皮水疱症）専門外来ができた経緯

自分が皮膚科医になった理由 将来の夢



北海道大学病院
皮膚科 新熊 悟

表皮水疱症は、表皮と真皮を接着させるタンパクに生まれつき異常があるため、日常生活における軽微な外力によって皮膚や粘膜のただれ（びらん）や水ぶくれ（水疱）を生じる遺伝性の皮膚病です。そもそも表皮と真皮は、それぞれの間に存在するタンパクによって強固に接着しているため、皮膚に外力が加わっても簡単には解離しない構造になっています。しかし、そのタンパクが正常に産生されないと軽微な外力で簡単に表皮と真皮が解離し、表皮水疱症を発症します。

現在、病気のものを治療する方法はなく、その時々症状を軽減する治療が主体となります。実際には、水ぶくれやただれができた場合は、きれいに創部を洗浄し、ワセリンなどの塗り薬を塗り、ガーゼで覆います。しかし、この治療

法は傷口にガーゼが固着することがあるため、ガーゼ交換は患者のQuality of Life (QOL:生活の質)の低下の一因となっていました。「表皮水疱症友の会」『DeBRA Japan』が中心になり、ガーゼ等の被覆材料費用の政府支給を厚生労働省に陳情したことが端緒となり、非固着性の創傷被覆材を使用することが可能になり、患者やその家族にとって傷の処置への負担がいくぶん軽減されるようになりました。

一部の重症な表皮水疱症患者は、水ぶくれやただれが全身に繰り返し出現し、傷痕（瘢痕）を残します。その結果、手足の指はくつつき、棍棒状になります。また皮膚のみならず口腔内や食道などの粘膜にもただれが生じるため、食べ物の通り道である食道が狭くなり、また口が開けづらくなるなどの症状が認められます。青年期以降には傷痕に皮膚ガンが頻発します。そのため、我々皮膚科医が表皮水疱症患者を診察する際は、全身の皮膚や粘膜を観察することはもちろんのこと、皮膚以外の合併症にも注意する必

要があり、通常の診察と比べ、診療時間が長くなることが多いです。私が勤務している北海道大学病院皮膚科では、これまで表皮水疱症患者は、様々な皮膚疾患患者が受診する一般の皮膚科外来で診療されており、十分な診療時間を確保することが困難でした。

そのような中、2015年10月2日、私の夢を一つ叶えることができました。表皮水疱症外来を北海道大学病院に開設できたのです。表皮水疱症外来は、時間当たりの予約患者数を制限し、患者を詳細に診察できるよう工夫しています。また、突然患者の状態が変化した場合でも迅速に対応できるように、複数名の医師で診察を行うなどの工夫をしています。

表皮水疱症は生まれた頃から皮膚の皮が簡単にめくれてしまうため、患者のご両親は大変戸惑ってしまします。健康な赤ちゃんを授かった時ですら困惑するのですから、その赤ちゃんが表皮水疱症であった場合のご両親の不安な気持ちには計り知れません。さらに、この疾患は非常に稀であるため、皮

膚科医や小児科医でも十分な知識を持っていない場合があります。表皮水疱症の赤ちゃんを授かった場合、迅速に医療従事者とコンタクトを取り、赤ちゃんとそのご家族の負担が少しでも軽くなる環境を作れるよう協力体制の整備を行っていきたいと考えています。

最後に私がなぜ表皮水疱症という疾患にこだわるのかについて述べさせていただきます。それは、私自身が表皮水疱症患者であるからです。幼い頃から皮膚が弱く、すぐに水ぶくれや傷ができていました。しかし、どの皮膚科に行ってもはつきりとは診断されず、良い治療法もありませんでした。そんな中、この表皮水疱症という病気を治したいと思い、医者の道を選択しました。この病気を勉強するため、北海道大学病院皮膚科で研修し、大学院へと進学しました。さらにこの病気の治療法を開発するため、ニューヨークへ留学もしました。これからもこの表皮水疱症を治療するという目標に向かって挑戦していきたいと思います。

アイルランド・ダブリンでアクセシビリティWG（作業グループ）会議が開催 —2016年11月30日—

2016年11月30日にアイル

ランド・ダブリンのアイルランド規格協会において第4回アクセシビリティWG会議が開催された。このWGは毎年開催される、JISC（工業標準化全般に関する調査・審議を行う日本工業標準調査会）とCEN/CENELEC（欧州標準化団体）との情報交換会の下部組織として設立されたWGの一つであり、これまでダブリン、東京オスロで3回会議が開催されていた。これらの会議では情報交換を行うとともに、ISO（国際標準化機構）に提案する案件の説明を行い、賛成投票、積極的参加（専門家の派遣）を依頼しており、効果を上げている。

会議の前日11月29日に、アイルランド国立障害者庁（NDA）に所属するユニバーサルデザインエクステンションセンターを訪問し、3名から講演を受けた。

1. エクステンションセンター主任部長から「支援機器とユニバーサルデザイン」のテーマで、支援機器とユニバーサルデザインの関係、センターの発行物についての発表があった。

2. ダブリン大学コンピュータインテグレーションから「アクセシビリティの大規模オンラインコース」のテーマで、オンラインの学習コースの発表があった。

3. ダブリン大学トリニティカレッジ国際保健医療教授から「支援機器に関する国際協力」のテーマで、国際保健機関での国際協力—50の支援機器リスト—の発表があった。

翌日30日の会議には、CEN/CENELEC側から5名（内、オンラインで参加が2名）、JISCからは4名が参加した。JISCから「ISO/TC159（人間工学専門委員会）/SC4（人間とシステム）のトランザクション分科委員会」とSC5（物理的環境の人間工学分科委員会）の進捗状況

況報告、「ISO/TC173（福祉用具専門委員会）/SC7（アクセシブルデザイン分科委員会）の進捗報告」を行い、提案予定の3件、「視覚障害者のための取扱説明書」、「消費生活用製品のアクセシビリティ評価方法」、「不便さ調査と良かったこと調査」を説明した。提案予定の3件については質問や要望が多く出て、興味を持たれていることが理解でき、今後の協力が期待できる結果となった。CEN/CENELECは「製品とサービスに対するアクセシ



国立障害者庁での会議

ビリティ要求事項（欧州アクセシビリティ法）に関する欧州議会及び欧州連合理事会指令の提案」、「公共機関のウェブサイトと携帯機器プログラムのアクセシビリティ新欧州指令」、「アクセシビリティ関連の欧州指令」、「ノルウェーでの取り組み」について発表した。「アクセシビリティ関連の欧州指令」では、欧州指令473により包装や電気・電子機器などにもアクセシビリティを対応していく予定であるとの説明があった。

今回の第5回会議は、ISO/TC159総会やISO/TC159/SC4の総会などに関連させて、2017年12月中旬に東京で、又は11月下旬か12月上旬にストックホルムで開催することとし、会議を終了した。

まつおからうち
松岡光一

「文京ボランティア・市民活動まつり2016」 共用品ブース二度目の出展

2016年11月19日(土)、「文京ボランティア・市民活動まつり2016」に二度目となる共用品のブースを出展しました。

昨年度は会場となる文京区民センターのリニューアル工事のため出展を見合わせましたので、1年間、毎回大盛況の千代田区や国立科学博物館でのイベントの内容を参考にしながら、より多くの地域の方々に楽しんで共用品を知っていただけるように考え、クイズ形式での参加を呼びかけました。

シャンプーのきざみは知っていたけど、ボディソープの印は知らなかった!

当日は朝からあいにくの大雨で、来場者数が心配されましたが、開場から間もなくすると、聴覚障害のある人達や、視覚に障害のある人達が共用品推進機構のブースにも興味を持ってくださり、共用

品の工夫をクイズにした問題に、何度も挑戦してくれました。ろう学校に通う子供達もたくさん来場し、率先してクイズに参加し、たくさんの方々の工夫を見つけてくれました。また、「クイズが楽しい」と、何度も何度も一人で参加する子供もいて、ブースは賑やかな笑い声に包まれました。



クイズを手話で伝える信井洋子理事のぶいようこ

共用品の工夫をもっと知らせてほしい

来場して下さった方の中には、当事者団体のトップを務められている方も多く、「こんな大切な工夫なのに今まで知らなかった。どこで情報が得られるの?」「私達に届く情報発信をしてほしい」と叱咤激励をいただきました。

地域における情報発信については、その地域の方々と共に協力して行うことが効果的ですので、今後も継続して出展し、情報発信をしていきたいと思っています。

森川美和もりかわみわ



クイズを楽しむ子



クイズに参加する子供とボランティアの大学生



ブースの様子

洗濯表示が新しくなりました (平成28年12月1日より)

2016年12月1日から、衣類等の繊維製品の洗濯表示が新しい「JIS L 0001 繊維製品の取扱に関する表示記号及びその表示方法」に規定する記号に変更されました。家庭で使用する洗濯機や洗剤が多様化し、商業クリーニングの技術も進歩するなど繊維製品を取り巻く環境が大きく変化したこともあり、新しいJISが制定されたのです。

「洗濯表示の記号の対比」で示す通り、デザインが変わり、種類も増え、これまでの記号とは見た目も考え方も大きく変わっています。

このJISは国際規格（ISO 3758）の表示記号と同じ記号を用いています。国内外で洗濯表示が統一されることにより、海外で購入したり、輸入したりした衣類等の取扱などを円滑に行えるようになることも考えられます。

金丸淳子

洗濯表示の記号の対比

11月30日までの洗濯表示の記号

洗濯のしかた

漂白のしかた

乾燥のしかた

アイロンのかけかた

クリーニングの種類

絞り方

12月1日からの洗濯表示の記号

洗濯のしかた

家庭洗濯（洗濯機洗い）ができる
記号の中の数字は洗濯液の上限温度を表す
「-」は「線なし」よりも弱く、
「=」はさらに弱い洗い方を表す

洗濯液の温度は40℃を
限度とした手洗いができる

家庭での洗濯は
できない

漂白のしかた

塩素系及び酸素系
漂白剤が使える

酸素系漂白剤
のみが使える

漂白剤は
使えない

乾燥のしかた

自然乾燥の記号

I	II	III	IV
つり干し	ぬれ つり干し	日陰の つり干し	日陰のぬれ つり干し
平干し	ぬれ 平干し	日陰の 平干し	日陰の ぬれ平干し

タンブル乾燥の記号

家庭でタンブル乾燥ができる
点の数は乾燥温度を表す
「..」はヒーターを「強」等に設定
「.」はヒーターを「弱」等に設定
ぬれ干しは脱水せず（絞らず）に干すことを表す

タンブル
乾燥禁止

アイロンのかけかた

アイロンを掛けることができる
点の数はアイロンの底面温度の上限を表す
「...」は200℃（高温）まで
「..」は150℃（中温）まで
「.」は110℃（低温）まで

アイロン掛けは
できない

クリーニングの種類

ドライクリーニングの記号

ドライクリーニングができる
パークロロエチレン等の
溶剤を使用

石油系溶剤を使用

ドライクリーニング
はできない

ウェットクリーニングの記号

ウェットクリーニングができる

「-」は「線なし」よりも弱く、
「=」はさらに弱い洗い方を示す

ウェットクリーニング
はできない

絞り方

対応する記号なし

は新しい洗濯表示の記号は
なく、必要に応じて「弱く絞る」
等の付記用語で表示される

は自然乾燥の記号におけ
るぬれ干しの記号にその意味を
含んでいる

「記号一覧」(消費者庁) http://www.caa.go.jp/hinpyo/pdf_data/hyouji_leaflet_2016.pdf

点字の名刺から

【事務局長だより】
星川安之



「星川、道に敷いてある黄色の点字ブロック、あれ何て書いてあるんだ？」と、福祉関係でない仕事仲間^{（注）}に聞かれたのは今から30年前。最初は、冗談で聞いてきたのかと思ったが、そうではなかった。「点字」という名称がついているのだから、「行き先」とか「現在地」が書いてあるのではないかという、素朴な疑問であったことが分かり、点字ブロックの正式名称が視覚障害者誘導用ブロックであること、そしてあの点は字で何かを表していないことを大真面目で説明した記憶がある。

それから暫くして、また別の福祉関係でない仕事仲間が、私の机の横にあった点字の新聞「点字毎日」を手にとって、暫く手でページを触りながら、「星川さん、目の不自由な人は1ページごとに手の平全体で点字を読むんですか？」とこれまた大真面目に聞いてきた。これも30年ほど前のことである。

あれから30年の間に、点字を発明したルイ・ブライユ氏が教科書で紹介され、ヤフーの検索でも上位にあがるようになった。

そして点字は本だけでなく、家電製品など機器類の操作部、調味料などのパッケージ、公共施設では階段の手すり、ホテルの客室番号、エレベーターの階数等のボタン、そして最近ではマイナンバーカードへと、表示されている場所やものが増えてきた。

しかしその反面、点字を読むことができる目の不自由な人の数は視覚障害者全体の1～2割と推測さ

れ、少人数のための点字を表示する必要を問う声もある。

これまた30年ほど前、お琴の先生である河相富貴子^{（注）}さん宅で、同じく地歌・箏曲家の富田清邦さん、そして当時日本盲人会連合で点字の校正の仕事^{（注）}をされていた河辺豊子さんと私の4人で昼間から、トランプゲームに興じていた。

私以外の3人は全盲で、点字が表示されたトランプを使用して白熱のゲームとなった。なったのは、陽が部屋に差し込んでいた時までで、陽が落ちると当時まだ妙な遠慮のあった私は、「明かりをつけていいですか？」の一言が言い出せずにいた。その後、3人からの「早くカードを出して！」に、か細い声で勇気を振り絞って「明かりつけていいですか？」。3人は「早く言いなさい！」と白熱は再開したのだが、その時ほど、点字が読めればと思ったことはない。

点字が視覚障害者の1～2割しか読めないと言われていたが、1～2割も読めるとも言えるし、トランプカードのように3文字ほどであれば、もっと多くの方が読めるのではないかと思うのである。新年、まずは自分の名刺に自分で点字を書くことから始めようと思っている。

本年も、どうかよろしく願いいたします。

共用品通信

【イベント】

“とっておきのアイデア”コンテスト(第1回)表彰式(11月1日)
文京区ボランティア・市民活動まつり2016(11月19日)
千代田区障害者週間イベント(12月3～9日)
平成28年度ADフォーラム(12月9日)

【会議】

第2回消費生活用製品のAD使用性評価検討委員会(11月24日)
第2回AD適合性評価制度検討委員会(11月24日)

【講義・講演】

国立特別支援教育総合研究所 第二期特別支援教育専門研修
講義(11月7日)
国際視覚障害者援護協会 講演(11月19日)
日本福祉大学スクーリング(12月3・4日)
東京都・千代田区立九段小学校で共用品授業(12月12日)
韓国・国立福祉大学の学生に講義(12月16日)

アクセシブルデザインの総合情報誌 第106号
2017(平成29)年1月25日発行
"Incl." vol.17 no.106
The Accessible Design Foundation of Japan
(The Kyoyo-Hin Foundation), 2017
隔月刊、奇数月に発行

編集・発行 (公財)共用品推進機構
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-4 OGAビル2F
電話:03-5280-0020
ファクス:03-5280-2373
Eメール:jimukyoku@kyoyohin.org
ホームページURL:http://kyoyohin.org/

発行人 富山幹太郎
編集長 山川良子
事務局 星川安之、森川美和、金丸淳子、松岡光一、田窪友和
執筆 大河内直之、小暮愛子、後藤芳一、新熊悟、高橋玲子、
富田清邦、長岡英司、長谷川貞夫、濱井良文、水出智津、
和田勉、バトバヤルエンフマンダハ
デザイン 関戸菜美
編集・印刷・製本 サンパートナーズ(株)
表紙写真 共用品推進機構常設展示室にて撮影
本誌の全部または一部を視覚障害者やこのままの形では利用できない方々のために、非営利の目的で点訳、音訳、拡大複写することを承認いたします。その場合は、共用品推進機構までご連絡ください。
上記以外の目的で、無断で複写複製することは著作権者の権利侵害になります。